

航空性中耳炎(気圧性中耳炎)

ふくおか耳鼻咽喉科

〒477-0032 愛知県東海市加木屋町2-224-2

TEL (0562) 38-2800

どんな病気?

飛行機の上昇・降下の際は、急激な気圧の変化によって鼓膜の内側と外側で圧力の差が生じます。その圧力差により、鼓膜が炎症を起こす中耳炎のことを「**航空性中耳炎**」といいます。**ダイビング**や**高い山からの帰り**でも同様のことが生じます。

症状

耳の痛み、ポーンとつまんだ感じ、難聴や、時にめまいを起こすことがあります。これらの症状は、搭乗中に起こることもあれば、飛行機から降りてしばらくしてから起こることもあります。



飛行機に乗ると、毎回中耳炎になるの?

風邪をひいていたり、花粉症やアレルギー性鼻炎で鼻づまりがある場合、この中耳炎になりやすいといえます。また、老化現象(気圧変化への適応力の低下)によっても、残念ながら毎回この中耳炎を起こす可能性があります。

★症状が急に変わることもあります。疑問な点や困った事がありましたら、なるべく早目におたずねください。

機内で痛みを感じたら



つばを繰り返し飲む



あめをなめる、
ガムをかむ



あくびをする



下あごを左右に
動かしながら、
つばを飲む



鼻をかんでからつまみ、
軽く「んっ」と耳抜きする
(力の入れすぎに注意)



点鼻薬をさす

当院での治療

炎症の程度が軽い場合は治療をしなくても自然に治りますが、炎症や症状が強いときは、**抗菌剤**や**ムコダイン(粘膜修復剤)**の内服をしていただきます。また、**通気療法**や**鼓膜切開**など、鼓膜への処置を行うこともあります。

予防

何よりも予防が大切です。飛行機に乗る前日くらいから、ムコダインを内服していただいたり、鼻づまり用の点鼻薬を搭乗30分前と到着30分前(フライト時間が長い場合)に使用してください。また、市販の気圧変動用耳栓の使用も多少効果があるようです。



おだいに
なさってください。

